

授業科目 母性看護学実習

【担当教員名】 山口 典子 他	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	90
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：G10】 周産期にある母性看護の対象者（妊産褥婦ならびに新生児）とその家族に対して、知識・技術・態度を統合し、個性のある看護を実践するための基礎的能力を修める。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 受け持ち褥婦の特性を理解し看護を実践できる。 2. 受け持ち新生児の特性を理解し、看護を実践できる。 3. 妊婦の特性を理解し、必要な看護を考察する。 4. 産婦の特性を理解し、必要な看護を考察する。 5. 社会資源の活用について理解できる。				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	学内オリエンテーション	1～5	各実習病院にて実習を行う	
2	病院・病棟・外来のオリエンテーション	1～5		
3	病棟ならびに外来で実習する	1～5		
4	カンファレンスを実施する	1～5		
5	実習のまとめ	1～5		
【使用図書】		<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他>		
教科書 (必ず購入する書籍)	リプロダクティブヘルスケア演習Ⅰ・Ⅱならびに母性看護学に関連した科目で使用した教科書を活用する			
参考書	必要に応じ随時提示します			
その他の資料	母性看護学実習要項 ガイドブック			
【評価方法】 学習目標の達成度および態度・出席状況を総合的に評価する		【履修上の留意点】 課題意識をもって主体的に学習すること 対象者の安全とプライバシーに十分配慮すること 止むを得ない事情以外、全日実習することが原則である		